

25年に“大阪万博”開催を

大阪府議会 で川岡議員 近代産業の歴史発信も

大阪府議会本会議が1日開かれ、公明党の川岡栄一議員が質問に立った。



川岡議員＝1日
大阪府議会
質問する

川岡議員は、大阪など関西では再生医療のトップクラスの研究者が活躍し、ホ

ウ素中性子捕捉療法(BNCT)によるがん治療

や遺伝子治療などの最先端医療の研究も進んでいることに言及。「こうした多彩な分野の研究成果が実を結ぶ時期と言われる2025年に、大阪での国際博覧会が実現できれば、大阪を世界有数のライフイノベーション拠点とし、わが国の成長をけん引できる」とし、知事の意気込みを示すよう

迫った。

これに対し松井一郎知事は、「高齢化が進む中で、人類が直面する健康への危機に対し解決の糸口を発見するため、世界から知恵を集める博覧会にしたい」とし、有識者、国、経済界の協力を得て大阪万博の実現に全力を挙げると応じた。

一方、川岡議員は「東洋のマンチエスター」と言われた大阪の近代産業の歴史を国内外に発信し、観光集客につなげていくよう提案。府は効果的な情報発信手法の検討を約した。